

しまねのコト、原子力のコト

アトム の 広 場

しまね原子力広報 SHIMANE ATOMIC INFORMATION



Photo: 十六島の岩海苔漁
撮影: 植田英夫

No.
136
2023.1

シリーズ | 見つけよう、しまねのコト。

冬の波が育む貴重な海苔 十六島海苔

特集 | 令和4年度 原子力防災訓練

島根原子力発電所周辺 | 環境放射線等調査結果

環境への影響は認められませんでした。

【コラム】 段階的避難

30km Area

SHIMANE

冬の波が育む貴重な海苔

シリーズ「見つけよう、しまねのコト。」では、身近にあるけれど普段意識しづらい身の回りの場所・モノ・行事・風習などを取り上げ、その歴史や文化をご紹介します。



摘み採った十六島海苔



摘み採り作業



砂の除去作業
撮影 植田英夫



すだれに延ばす作業



雑煮

『出雲国風土記』にも記載された、ここでしか採れない海苔

島根半島の西部に位置する出雲市十六島町。海に断崖がそそり立つ、険しい地形のこの海岸で採れるのが、古代から名産として知られている十六島海苔です。『出雲国風土記』には「紫菜は楯縫郡のりたてぬい（十六島周辺の古名）がもっとも優れている」との記載があり、奈良・平安時代から朝廷に献納されていました。江戸時代に入ると精進料理や茶席で珍重されるようになり、松江藩主であった松平不昧は、十六島海苔を張り合わせた羽織を着て宴席に現れたという逸話も残っています。高い香りつつや、それに口溶けが特長で、あぶって食べたり、吸い物に入れたりします。正月の雑煮に欠かせない

家も多いことでしょう。

「海が荒れてくると、流されてきた海苔の胞子が岩に付着して育つ。口の中で溶ける、柔らかい海苔はここでしか採れないんですよ」長年にわたって十六島海苔を採ってきた樋野峰夫さん（表紙）はそう話します。

海苔が育つ岩場は「海苔島」と呼ばれ、町内のおよそ20軒が代々受け継いできた島を持っています。12月から2月までの厳寒期に行われる、冷たいしぶきを浴びながらの摘み採りは、スパイク付きの長靴を履いていても波にさらわれる危険があり、緊張を強いられる作業です。

地元の人たちによって守られ続けてきた十六島海苔

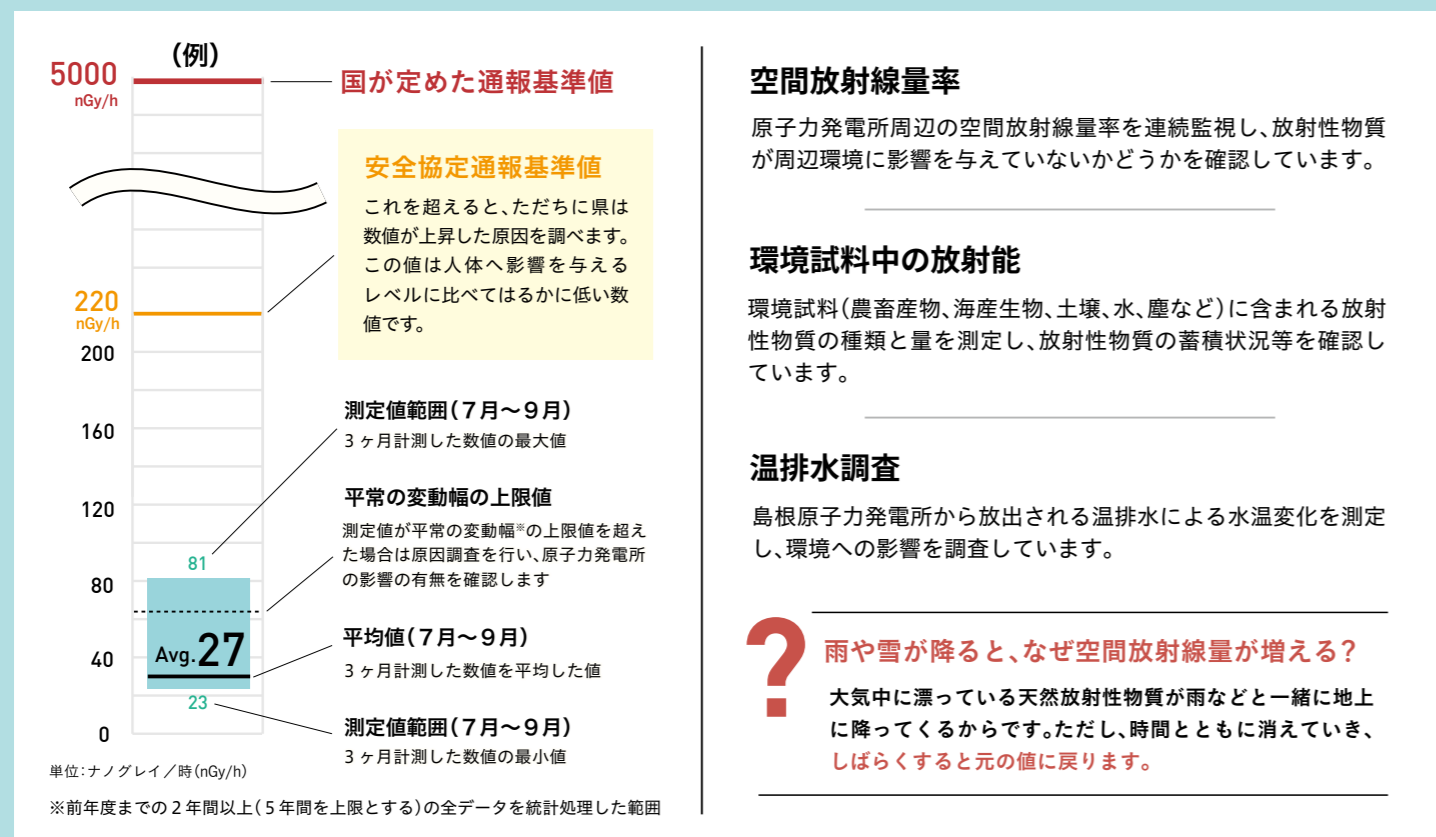
十六島の海苔島は、海苔が付着しやすく、また採りやすいよう、コンクリートで平らに整えてあります。普段は白い岩場が冬になると黒い海苔で覆われ、12月後半から1月にかけては、一晩で3～5センチも育つことがあるといいます。摘み採りは天候が穏やかな日の午前中に行いますが、手前にぐっと引いて採る作業はコツと力が必要で、手が腫れることも少なくないそうです。海が荒れないと海苔が育たず、かといって荒天が続くと海苔が波で流されてしまうこともあり、シーズン中は天気予報から目が離せません。

採った海苔は、作業場に運んですだれの上に延

ばします。1枚のすだれに2人が向き合い、両手を使って均一に広げていきますが、海苔が固まってしまうとうまく延ばせなくなるので、時間との勝負です。広げた海苔は、窓を開けたり扇風機を回したりして、その日のうちに乾かします。

樋野さんは、温暖化による潮位の上昇や後継者を心配しつつも、「嬉しいことに、退職してから海苔を継ぐ人が増えているんですよ。この海苔がずっと続いて欲しいですね」と笑顔で語ります。日本海の冬の波が育む貴重な十六島海苔は、この地に暮らす人たちの熱意と努力によって守られ続けています。

島根県では、地域住民の皆様の安全確保及び環境の保全を図るため、環境放射線等の調査を行っています。



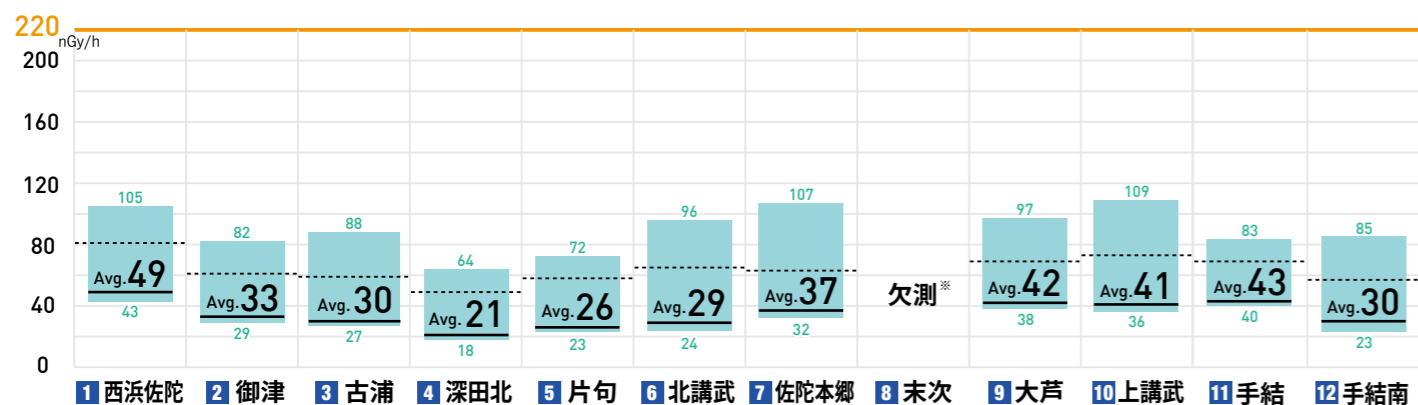
今期の調査結果を検討・評価したところ、
島根原子力発電所による影響は認められませんでした。



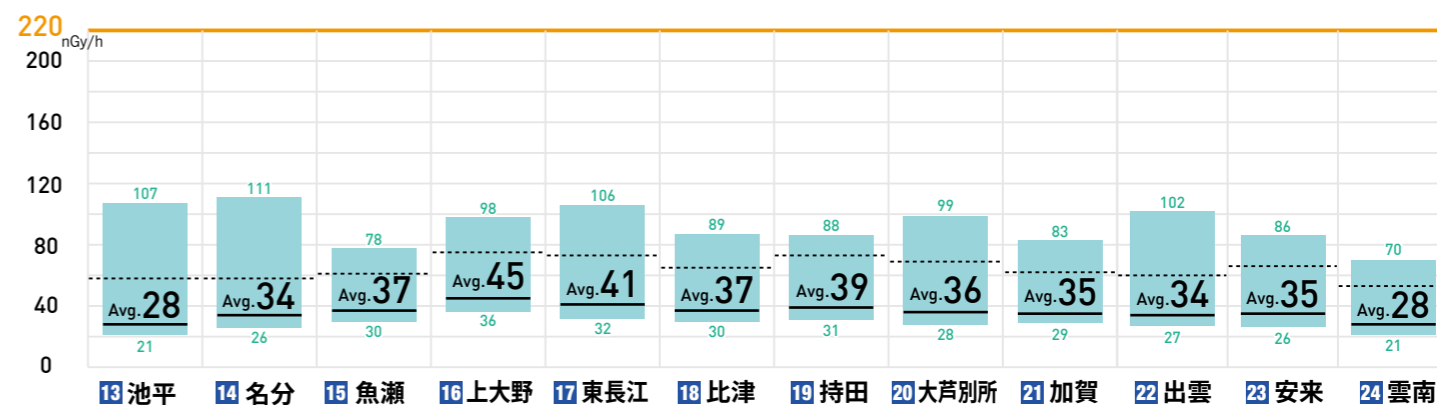
空間放射線量率

2022年7月～9月

「平常の変動幅」を超える線量率が測定されましたが、いずれも降水等による線量率の増加によるもので、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。



○3ヶ月間の測定値における最高値と最低値を表記しています。○平均値(7～9月)は各月の平均値を平均したものです。○測量地点の番号と名称は上記MAPと連動しています。
※8末次は、松江市役所の建て替え工事に伴い、しばらくの間、欠測になります。なお、工事期間中は可搬型モニタリングポストで測定を行っています。



環境試料中の放射能

2022年7月～9月

平常の変動幅内または一般の環境で認められる程度の値であり、島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

●分析結果

測定試料	単位	測定結果(セシウム137)	平常の変動幅	測定試料	単位	測定結果(ヨウ素131)	平常の変動幅	測定試料	単位	測定結果(トリチウム)	平常の変動幅
浮遊塵	μBq/m ³	検出されず	検出されず	松葉	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず	大気水	Bq/ℓ	検出されず～0.47	検出されず～0.81
松葉	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.13	原乳	Bq/ℓ	検出されず	検出されず	海水	Bq/ℓ	検出されず	検出されず
さざえ	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず～0.04	ほんだわら類	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず				
むらさきがい	Bq/kg(生)	検出されず	検出されず								
ほんだわら類	Bq/kg(生)	検出されず～0.08	検出されず								

※セシウム137以外の対象核種(54Mn, 59Fe, 58Co, 60Co)については検出されませんでした。
※「平常の変動幅」は平成22年度及び平成25～令和3年度の10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

※「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

測定試料	単位	測定結果(ストロンチウム90)	平常の変動幅
松葉	Bq/kg(生)	14	2.5～13
茶	Bq/kg(生)	0.16	0.11～0.36
海水	mBq/ℓ	1.5	検出されず～2.6
かさご	Bq/kg(生)	0.03	検出されず～0.06
さざえ	Bq/kg(生)	検出されず～0.04	検出されず～0.04
あらめ	Bq/kg(生)	0.04	検出されず～0.05
わかめ	Bq/kg(生)	0.05	検出されず～0.15

※「平常の変動幅」は前年度までの10年間の最小値から最大値までの範囲です。(一部試料を除く)

※ストロンチウム90の分析・評価には時間を要するため、1期ずらして報告することがあります。

温排水調査結果

2022年7月～9月

今期の調査結果を検討・評価したところ、
島根原子力発電所による影響は認められませんでした。

期間中、1～3号機とも原子炉の稼働に伴う温排水の放出はありませんが、発電所周辺の海域における水温分布等の調査は引き続き実施しています。

令和4年度 原子力 防災訓練

今回は、令和4年度原子力防災訓練を特集します。

島根県東部(松江市)で震度6弱の地震が発生し、その後、設備の故障等が重なり、島根原子力発電所2号機の原子炉を冷却する機能が失われたという想定で11月7日、12日に訓練を行いました。

今回の訓練では、3年ぶりに実際の避難先に向かう広域避難訓練を実施しました。また、重点項目として、多様な手段による避難手順の確認を行いました。

自家用車による避難



今回の訓練で初の試みとして、住民の自家用車による避難を行いました。

11月12日午前8時半ごろの緊急速報メールなどにより避難の指示を受け、原子力発電所から30km圏内の地区の住民が、地区から出発し、避難退域時検査を受けた後、避難先へ向かいました。各会場の訓練は概ね順調に進み、参加住民からは「今まで漠然としていた広域避難が見えるようになり大変有意義だった」との意見もありました。

今後も地区ごとの避難ルートや避難先等を地図に記したパンフレットを配布するなど、事前の広報を進めていきます。

実際に避難ルートマップを確認してみましょう

もしもに備えて

万が一、原子力災害が発生した場合に備え、避難ルート、避難退域時検査場、避難先、避難経路所などを確認できます。

島根県避難ルートマップ 検索

<https://shimane-hinan-map.jp/>



船舶による避難



松江市御津地区で、道路の通行不能箇所があり、陸路での避難開始に時間を要する住民が発生したという想定のもと、海上保安庁と合同で船舶による避難訓練を行いました。当日は模擬住民役の県職員が御津漁港から搭載艇に乗り込み、沖合で巡視船おききへ乗り換え、出発しました。

ヘリコプターによる避難



松江市鹿島地区で、救急搬送が必要となった患者が発生したという想定のもと、自衛隊や松江市消防本部と合同で避難訓練を行いました。模擬患者を支援者(家族)と共に、救急車で深田野球場まで搬送し、自衛隊へ引き渡し、ヘリコプターで避難先の病院を想定した出雲駐屯地へ搬送しました。

振り返り

今年度の訓練は、実際に地区の住民の方に参加いただき、訓練に参加した各機関は、人や車の移動の対応手順を確認しました。今後、訓練結果を振り返り、改善点の抽出をすることで、避難対策の実効性を高めていきます。

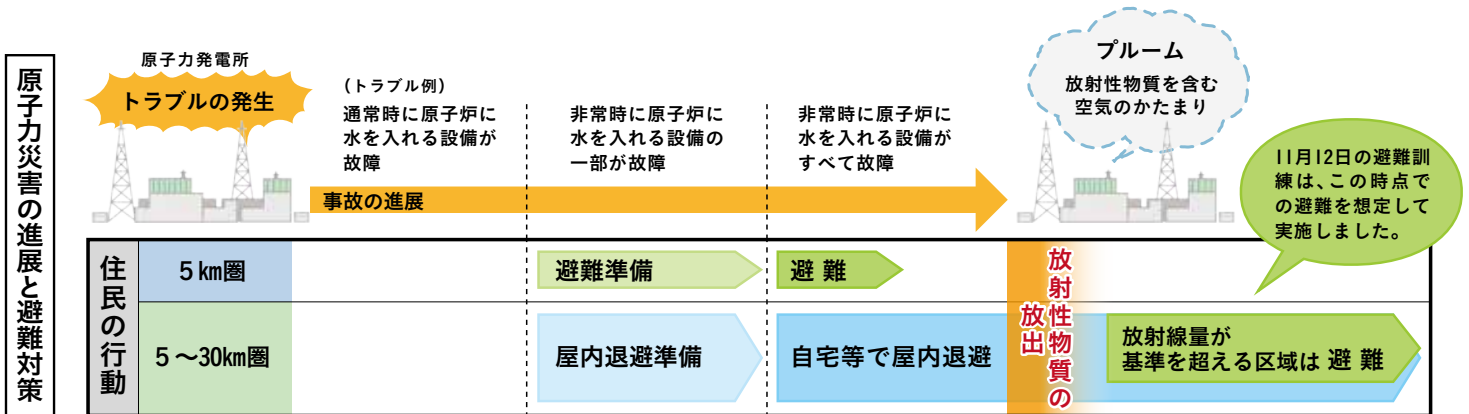
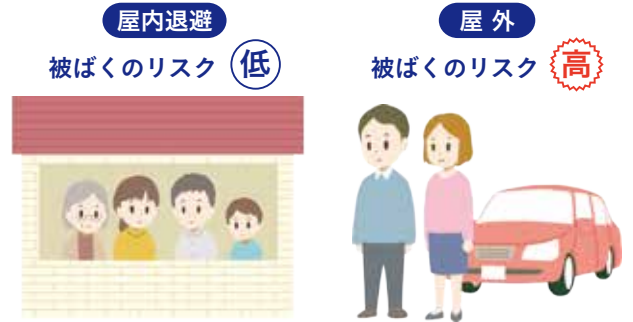
第10回 ● 段階的避難

Q. 避難はいつすればいいの？

5～30 km圏にお住まいの方は、まず屋内退避を行い、指示があってから避難を開始します。

原子力災害時、UPZ(5～30km圏)においては、まず、建物の中に入って放射性物質を含む空気が入らないように窓を閉めるなど、放射性物質が放出される事態に備えて屋内にとどまります。これを「屋内退避」といいます。

放射性物質を含む空気のかたまり(プルーム)が通過するとき屋外で行動していると、かえって被ばくのリスクが高まるため、プルームが通過するまでは屋内退避を行い、必要に応じて、県や市などの指示があってから避難や一時移転を行うことになっています。



[お知らせ]

令和4年度 第4回 **参加無料** **昼食付き**

原子力関連施設見学会

参加者募集

県内の原子力関連施設(島根県原子力防災センター、島根県原子力環境センター、島根原子力発電所)の見学会を開催します。

●開催日時 令和5年2月28日(火) 8:40～16:00

●応募締切 令和5年2月7日(火) 必着

●募集人員 25名(申込多数の場合は抽選)

●応募方法 連絡先等の必要事項を記載の上、ハガキ、FAXまたは電話でご応募いただくか、「アトムの広場」Webサイトの専用応募フォームよりご応募ください。

●応募先 島根県原子力安全対策課 見学会担当
ページ下の連絡先までご応募ください。

◎必要事項

参加を希望されるすべての方の郵便番号、住所、氏名(ふりがな)、電話番号、生年月日、公的身分証明書の種類(以下参照)

【公的身分証明書】次の①～④の中から1種類お選びください。

①運転免許証 ②パスポート ③写真付きマイナンバーカード

④その他の公的書類(A～Cのうち、2つが必要です。例:住民票+健康保険証)

A:住民票(6ヵ月以内) B:健康保険証 C:年金手帳

※上記以外の公的身分証明書についてはお問い合わせください。

※参加決定者の方は、お申込み時にご登録いただいた公的身分証明書(写)の事前提出が必要となります。

※応募内容の個人情報、見学会の目的外に使用することはありません。

※お子様の参加は小学校3年生以上、保護者同伴となります。

しまねのコト、原子力のコト

アトムの広場

しまね原子力広報 SHIMANE ATOMIC INFORMATION

「アトムの広場」に関するご意見・ご感想等がありましたら、島根県原子力安全対策課までお寄せください。

NEW!

アトムの広場
Webサイト



<https://atomnohiroba.jp>

編集・発行 島根県 防災部 原子力安全対策課

〒690-8501 島根県松江市殿町1番地

TEL (0852)22-6059(代表) FAX (0852)22-5600

TEL (0852)22-6075(見学会担当)

URL <https://www.pref.shimane.lg.jp/genan/>

E-mail gen-an@pref.shimane.lg.jp

2023年1月発行 ※令和4年度広報・調査等交付金等事業により作成しました。松江、出雲、安来、雲南の4市では、各世帯に配布しています。



この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。



この印刷物は環境に優しいベジタブルインキを使用しています。